



フォレストワーカー INTERVIEW

くびき野森林組合
江口達也
Eguchi Tatsuya
江口里江子
Eguchi Rieko



1992年、東京都生まれ
上越市在住(29歳)
林業経験2年8ヶ月

1991年、上越市生まれ
上越市在住(30歳)
林業経験2年8ヶ月

「林業に興味を持ったきっかけは？」
達也・高校が林業を学ぶコースでした。学校から東京農業大学の練習生制度(1年間、学校の管理や実験の補佐を経験してから大学に入学)を薦められて林業工学を専攻しました。

里江子・東京農業大学(短大)で栄養学を専攻していましたが、他学部の方と関わるうちに自然科学に興味を持ち、森林総合科学科に編入。チェーンソーを使って木を倒す実習で本格的に林業に興味を持ちました。



現場作業に加え、土木会社での施工管理業務や役所対応スキルを活かした内業(測量計画・製図などの管理)も担当している達也さん。「両方をバランス良くやっていきたい」

「こちらに入社するまでの経緯は？」

達也・就活中、林業の求人が全くなくて、県内の仕事を探し、阿賀町の土木会社に入社しました。彼女に相談せずに決めたので怒られました(笑)。そこで5年働き、縁あって2019年にこちらに来ました。地元で林業できるのがうれしいです。

里江子・大学卒業後、達也さんの住む、阿賀町の地域おこし協力隊(林政)で3年活動した後、東蒲原郡森林組合に就職。2019年に結婚して、2020年の4月からくびき野森林組合で働き

現場ではチェーンソーでの伐倒、造材やプロセッサ造材を行った。里江子さんは普段から伐倒の動画を撮って動きを確認。「無駄な動きが少しずつ改善されていったと思います」



じめました。

「林業で夫婦が同じ職場で働いているのは珍しいですね。」

達也・一緒に林業をやるとは思っていませんでしたね。

里江子・職場が同じだと現場の状況や地域の木の特徴など、お互いの情報を共有できるのが良いです。悪いところは、1日



里江子さんが倒して造材した木の切り口をチェックする二人。「林業は何といってもチームワークが大事な仕事です」と口をそろえる

中一緒なのでケンカもしやすい(笑)。今は夫婦のチームワークを活かして特殊伐採のチームを組めたらいいな。

「林業の魅力は？」

達也・現場作業は厳しいことが多いですが、マニュアル化できない仕事ならではの面白さがあります。木は1本1本特徴が違うし、木が育つ土地やその日の天気に

とに挑戦できるのも魅力的。季節の移ろいを感じながら作業できるのも良いです。私は子どもの頃から外で駆け回っていて、今も体を動かすことが好きなので自分に合った仕事だと思います。何より林業はカッコいい！林業に出会えて良かったです。

「最近女性森林整備員も増えて

きています。」

里江子・性別にかかわらず興味を持った職に就けるようになった証かなと。理解を示し、受け入れてくださる事業体が増えた。ありがたいことだと思います。

「今後の目標は？」

達也・現場作業でも内業でも効率が悪いなと思うことがあります。職人の技術を守りながらも海外を見習って効率的にお金を稼げる林業を考えていきたいです。里江子・今はまだ基礎的な技術や考え方を学んでいるところですが、お客さんや地域の皆さんに還元できるように応用力を身に付けたいです。

PRIVATE TIME

江口夫妻のちょっとプライベートコーナー

新潟県へ移住してから始めたスノーボード。今後本格的に装備を揃えたいです(里江子さん)

休みの日には職場の仲間と一緒にサバゲーを楽しんでいます(達也さん)

